



題字・絵・文／池原昭治氏



池原さんのプロフィールや
ほかの作品はこちら▼



お祭はいもした……（梅原）
（このお話は、今から40年前のことです）
梅原白ひげ神社で23年ぶりに「梅原の獅子舞」が復活するということを決まされたのでした。
11月3日、文化の日でした。空では航空祭、公民館では文化祭、境内では少年剣道大会が行われました。試合も終りに近づくと獅子舞関係の人達があつたらしく用意をはじめた。古来の指図で獅子舞の行列がそろいました。世話役として吉で笛が鳴りだした。金棒、花笠、笛、歌、太鼓、獅子舞、順で回参りが行われ、社殿を2回舞ながら廻りつづいて、店場へ本格的に舞、終る頃お天やけとなり参道の地行灯がかがやき、いかにみえます。そして、鐘の音が一軒、子どもらに響いた。このとき、獅子舞の背後は麗い鐘音が、そのお祭はいもした、いもにみおせ、めでた

ヤ、まの世になし

73



このコーナーでは、昔から市内で語り継がれている言い伝えなどを、池原さん流の描画で紹介します。



分かるかな？

今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょう？

正解者の中から、抽選で5名に
記念品を差し上げます。郵便はがきに、住所、氏名、
電話番号、クイズの答え、感想を記入して広報課宛
(〒350-1380 入間川1丁目23番5号)
にお送りいただくか、右の二次元コード
から応募してください。



締め切り10月31日(土)

9月号の答え

5ページ「障害者就労施設からの製品購入や業務受注にご協力を」の「お団子」の写真でした。



マチイロ
「広報さやま」が
スマホで見られます！



 狭山市LINE
公式アカウント
ID:@citysayama



編集後記

少し前までは、「暑い、暑い」と言いながらカメラを構えていた取材ですが、気がつけば朝晩に心地良い風が吹くようになりました。いよいよ秋本番ですね。

10月、11月といえば、市内の公民館などが一年で最も盛り上がる「市民文化祭」の季節になります。力作の並ぶ展示作品や日頃の練習成果が発揮されるステージ発表に、じっくりと目を凝らすもよし、活気あふれる模擬店のおいしいものに舌鼓を打つもよし。芸術や食欲の秋を探しにお近くの会場へ足を運んでみてはいかがでしょうか。そこには、地域で活動する多彩なサークルや仲間たちとの新しい出会いが待っているかもしれませんよ。

各会場の主役が、心を入れて皆さんをお迎えする準備を進めています。今月号の特集は市民文化祭。広報さやまを片手に各会場を訪れてもらえるとうれしいです。



人口と世帯(市民課)

※人口は9月1日現在()内は前月比。転出入等は1カ月間の累計

男	73,288人 (+16人)	転入等	556人
女	74,117人 (-34人)	転出等	488人
合計	147,405人 (-18人)	出生	67人
世帯	74,187世帯 (+59世帯)	死亡	153人